

事業所名

子ども発達支援センターつみき園

支援プログラム

作成日

R7 年

3 月

3 日

法人（事業所）理念		社会福祉法人理念「支え合い 共に生きる 住みよい地域づくり」					
支援方針		子どもの状態像や発達状況について、ご家族と共有を図れるよう信頼関係を築き、生活背景や家族の思い、ニーズを丁寧に拾い、寄り添うことに努めます。子どもの視点に合わせ、遊びに付き合ったり関わったりし、状態像を把握しながら全体発達を促せるように支援していきます。また、達成感を持たせ、自信につなげながら、自己肯定感を育てていけるように支援します。					
営業時間		8 時	45 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康で安全な生活が送れるように、健康状態のきめ細やかな観察を行います。身の回りを清潔にすることや、睡眠、食事、着脱、排泄等の基本的な生活スキルを獲得し、また生活リズムを身につけられるように支援します。生活の中で様々な体験を通して学習できるように、環境を整えていきます。子どもの特性や状況に配慮しながら、適切な時期に適切な支援を行います。					
	運動・感覚	日常生活に必要な姿勢保持や上下肢の運動、動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持強化等を図ります。姿勢保持装置等の補助的手段を活用して支援します。子どもの発達に合わせながら四つ這いや歩行、車いす等による移動など必要な移動能力の向上のための支援をします。視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前提感覚等の感覚を十分に活用できるように、遊びを通して支援します。感覚の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援をします。					
	認知・行動	個々の認知の特性を理解し、情報を適切に処理できるように、また的確な判断や行動につなげることができるように支援します。視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用して、認知機能の発達を促す支援をします。形や色、大小、数等の習得、物や空間、時間等の概念の形成を図り、認知や行動の手がかりとして活用できるように支援します。感覚の偏りやコミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援をします。					
	言語 コミュニケーション	体系的なことばの習得や自発的な発声を促す等、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身につけられるように支援します。相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする等、ことばを受容し表出できるように支援します。場や相手の状況に応じてコミュニケーションが展開できるように支援します。共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上の支援をします。指差しやジェスチャー、サイン、絵カードの利用等、コミュニケーション手段の選択と活用の支援をします。読み書き能力のための支援をします。					
	人間関係 社会性	身近な大人との関わりを通して信頼関係を築きながら、安心感を得たり、自分の気持ちに折り合いをつけたり、周囲の人と安定した関係を形成する等、気持ちや情動の調整ができるように支援します。遊びを通して模倣したり、感覚や運動遊び、見立て遊び、ごっこ遊び、一人遊びからルールを守って遊ぶ共同遊び等、発達を考慮しながら社会性の発達を支援します。集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援します。					
家族支援		関係機関と連携し、子どもの特性に配慮しながら、ご家族の悩み事や相談に対する適切な助言や支援を行っていきます。			移行支援		就園や就学（ケースによっては進学、就労）に向け、関係機関と連携し、移行に向け調整や情報共有を行っていきます。並行通園している子どもについては、所属機関と連携しながら対応していきます。
地域支援・地域連携		年1～2回、保育園幼稚園や学校（必要に応じて他の事業所等）を訪問し、当園を利用している子どもの活動の様子を見学したり、各所属の担当職員と情報共有を行っていきます。			職員の質の向上		各種研修の参加や研修後の伝達報告、園内研修を通して、職員の質の向上を図っています。
主な行事等		歯科検診（年2回） 七夕、ハロウィン、お楽しみ会等季節に合わせた内容をグループ指導の中に盛り込んでいます。					